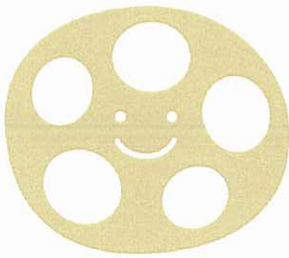


(3) 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

- むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合を50%以上
- 県内産の食材を積極的に扱う
「いいともあいち推進店」の登録数を500店以上
- 環境に配慮して農業生産を行う
「エコファーマー」の認定者数を3,500人以上



むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合

食材を有効に使ってむだや廃棄の少ない食事を作ることは、ごみの減量につながります。これを積極的に行っている人の割合を50%以上にします。

「いいともあいち推進店*」の登録数

身近な食べ物の消費や利用を進めることは、遠くから運ばれてくる食べ物を使うことよりも輸送にかかるエネルギーを節約できます。県内産の食材を積極的に扱う「いいともあいち推進店」の登録数を500店以上にします。

*いいともあいち推進店

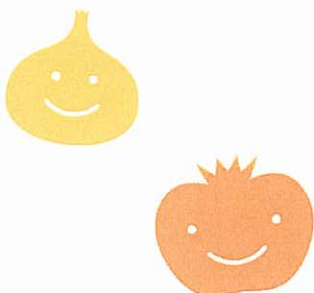
「いいともあいち運動」に賛同し、本県農林水産物を積極的に販売する店舗や食材として利用する飲食店等のうち県に登録されたものです。「いいともあいち運動」とは、農林水産物の振興、農山漁村の活性化を通じて、将来にわたる豊かな県民生活の実現を図る運動。

“いいとも”とは、

①県内の消費者と生産者が、“いい友”関係になろう。

②・イート・モア・アイチプロダクツ
(Eat more Aichi products)

=もっと愛知県産品を食べよう(利用しよう)



「エコファーマー*」の認定者数

農業生産において、農薬や化学肥料の使用を減らし、河川や海、地下水など環境への負荷の軽減と農作物の安全性の確保を図ります。

こうした減農薬・減化学肥料栽培など環境に配慮した農業の生産に取り組む「エコファーマー」の認定者数を3,500人以上にします。

*エコファーマー

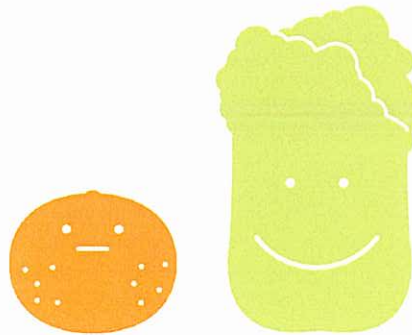
①たい肥等による土づくり技術、②化学肥料低減技術、③化学農業低減技術の3つの技術を一体的に用いて、環境に優しい農業を実践する栽培計画を策定し、この計画が知事に認定された農業者をいいます。

項目	直近年	目標値 (H22)
■ <u>むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合</u>	35.5% (H18)	<u>50%以上</u>
■ <u>県内産の食材を積極的に扱う「いいともあいち推進店」の登録数</u>	336店 (H17)	<u>500店以上</u>
■ <u>「エコファーマー」の認定者数</u>	2,200人 (H16)	<u>3,500人以上</u>

(4) 食育を広めるための目標

食育の三つの方向についての目標に加えて、食育を広めるための目標を次のとおりとします。

- 食育に関心を持っている県民の割合を90%以上
- 「愛知県食育推進ボランティア」の登録数を500人以上
- 「食育推進計画を作成・実施している市町村の割合を80%以上



食育に関心を持っている県民の割合

食育を推進し、その成果をあげるためには、まずは県民一人ひとりが食育に関心を持ち、自ら取り組むことが重要です。

食育に関心を持っている県民の割合を90%以上にします。

「愛知県食育推進ボランティア*」の登録数

食育を推進するには、食生活の改善、農林漁業の体験や食文化の継承などについての知識や経験を持ち、県民に対する指導的な役割を担う人材の育成が必要です。

地域に根ざした食育の推進活動を行う「愛知県食育推進ボランティア」の登録数を500人以上にします。



* 愛知県食育推進ボランティア

食生活や栄養の改善、親子料理教室や農業・漁業等の体験活動及び食に関する様々な普及啓発活動を行うボランティアとして、県に登録された人です。

食育推進計画を作成・実施している市町村の割合

地域の実状に合わせた食育を推進していく上で、市町村の果たす役割は重要です。
食育推進計画を作成・実施している市町村の割合を80%以上にします。

項目	直近年	目標値 (H22)
■ <u>食育に関心を持っている県民の割合</u>	64.8% (H17)	90%以上
■ 「 <u>愛知県食育推進ボランティア</u> 」の登録数	388人 (H17)	500人以上
■ <u>食育推進計画を作成・実施している市町村の割合</u>	0% (H18)	80%以上

